

2016年8月31日

矢崎エナジーシステム株式会社  
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## 日系企業初、タイでテレマティクス技術を活用した企業向け事故低減支援サービスを開発

矢崎グループの矢崎エナジーシステム株式会社(社長：矢崎 航、資本金：3億1,000万円、本社：東京都港区)のタイ現地法人であるThai Yazaki Network Service Co., Ltd(以下、TYNS)とMS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長：金杉 恭三、資本金：1,000億円、本社：東京都渋谷区)のタイ現地法人であるAioi Bangkok Insurance PCL(以下、ABI)は、2社協業のもと、テレマティクス技術を活用した企業向け事故低減支援サービスを開発しました。

本サービスは、TYNS社の最新鋭の通信型デジタルタコグラフ(サービス名：iQsan)\*<sup>1</sup>を利用した安全運転コンサルティングサービス\*<sup>2</sup>で、企業の事故低減取組みに対して更なる安心・安全を提供するものです。

サービス開始日については2016年9月上旬を予定しており、初年度30企業へのサービス提供を目指します。

本サービスの展開を契機として、iQsanの普及と企業の安全運転支援をサポートするとともに、タイ国における安心・安全な道路交通社会の実現に貢献していきます。

\* 1 iQsan…ASEAN地域向けに開発した広域通信機能内蔵のクラウド型デジタルタコグラフの商品名で、「イッキウサン」と読みます。仏教国タイでは日本のアニメ「一休さん」が広く知られており、一休さんの聡明なイメージに由来しています。

\* 2 安全運転コンサルティングサービスは MS&AD インシュアランスグループの株式会社インターリスク総研のタイ現地法人である InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd を通じて提供します。

### 1. 開発の背景について

タイでは自動車の台数が急速に増加しており、WHO の調査で人口 10 万人あたりの交通事故死亡者数が 36.2 人 (2015 年度データ) と、世界で 2 番目に多い等、深刻な状況です。バス・トラック事業者に対しては、GPS トラッキングシステムの装着が段階的に義務化されるなど、政府レベルでの対策が進みつつあるものの、民間企業では一部を除き、ドライバーの安全運転指導はまだ十分とは言えず、効果的な事故低減取組みが喫緊の課題です。

一方、日本ではテレマティクス技術の進展により、自動車の運行データを活用した事故低減取組が進み、事故防止/削減に大きな効果があることが実証されつつあります。

このような背景のもと、企業の安全運転指導をサポートすべく今般、TYNS 社の iQsan を活用した安全運転、事故低減支援サービスを共同開発し、タイにて提供することとなりました。

## 2.サービスの概要 -TYNS 社の iQsan の機能を活用した、安全運転コンサルティングサービス

### (1) iQsan の特徴

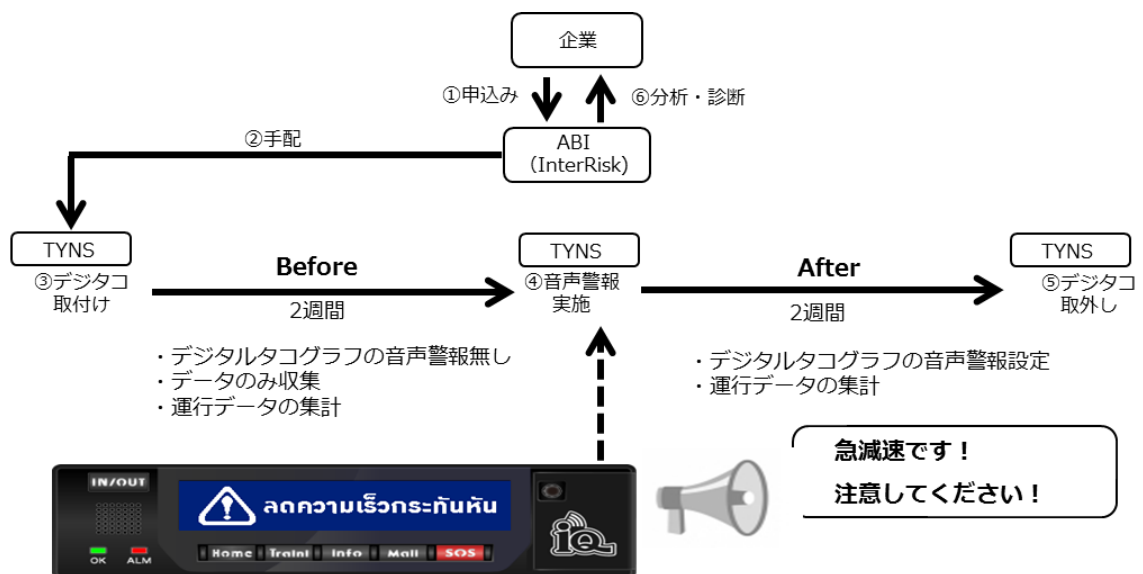
iQsan は、リアルタイム通信を行うテレマティクスと、安全・省燃費を管理できるデジタルタコグラフの機能が一体となった車載機器端末であり、車両に装着することで、走行データや位置情報を取得し、ドライバー個々の運転傾向を分析することができます。また、ドライバーに対し、危険運転の注意や改善に向けたアドバイスをタイ語でガイドランスできるなど、運転品質の向上に寄与する機能を備えています。本サービスは既に TYNS がタイにて、2015年より実用化済みです。

### (2) 安全運転コンサルティングサービスの概要

iQsan で取得したデータを ABI にて解析しドライバーごとに安全運転に資するポイントをまとめフィードバックします。

- 1) iQsan を特定の車両に 4 週間設置
- 2) 初めの 2 週間は、現状の運転を分析
- 3) 残りの 2 週間は、警報機能を用い、スピードオーバー・急加減速・アクセルの踏み過ぎやエンジンの高回転が発生した場合のドライバーへの警告を実施
- 4) 上記 4 週間の運行データに基づき、分析・診断レポートをご提供
  - ドライバーごとに運転の特徴、改善ポイントなどをまとめ、運行管理者へフィードバック
  - 結果に基づく、具体的な事故防止対策の検討をフォロー

#### 【概要】 サービス提供の仕組み



以上